

横浜岳風会創立45周年記念

# 吟道大会

日 時 令和7年11月1日 (土)  
開場：11時30分 開演：12時00分  
会 場 横浜市金沢公会堂 大ホール  
(京浜急行線 金沢文庫駅から徒歩11分・金沢八景駅から徒歩13分)

主 催 公益社団法人日本詩吟学院認可  
横 浜 岳 風 会  
後 援 公益社団法人日本詩吟学院

(横浜市金沢区 称名寺) 撮影 篠崎岳法

## 祝 辞

横浜市長 山中竹春

「横浜岳風会創立45周年記念吟道大会」が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。昭和55年の創立以来、横浜岳風会の皆様には、日本の伝統文化である詩吟の振興に御尽力いただくとともに、日頃より市内の区民利用施設等での活動を通じて、地域における文化芸術の継承と発展に多大なる貢献をいただいていることに、深く敬意を表します。

詩吟は、詩歌や俳句などの言葉に込められた作者の喜びや悲しみなどの心情を、吟者が自らの声と感性を通して表現し、聴き手はそれぞれの感性で詩の世界に入り込み、作者と心を通わせることで、世代を超えた共感を生み出すことができます。これこそが詩吟の持つ奥深く豊かな魅力です。

記念大会に出演される皆様が、日頃より研鑽を重ねてこられた吟詠の成果を披露することは、詩吟の魅力を広く発信する貴重な機会となります。詩吟の奥深さと感動が、多くの皆様に深く伝わりますことを心より願っております。

横浜市では、文化芸術の創造性を生かし、地域コミュニティやまちの活性化につなげるとともに、横浜らしい魅力を創出・発信することで、国内外から「人を惹きつけるまち」としてさらに発展していけるよう、力を尽くしてまいります。今後も皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

むすびに、本大会の御成功と横浜岳風会の一層の御発展、そして御関係の皆様のみますの御活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

公益社団法人 日本詩吟学院

理事長 田邊岳璋



本日ここに横浜岳風会創立45周年記念吟道大会が金沢公会堂に於いて開催されますこと誠にめでたく衷心よりお祝い申し上げます。

歴代会長をはじめ幾多の先達によるご努力、石井岳孝現会長ならびに横浜岳風会会員皆様の熱意により、今日のご盛儀を迎えられましたことに敬意を表します。

感染症問題のみならず混沌とした現代社会において、石井岳孝会長におかれましては、横浜岳風会会員の皆様と共に肌理細やかな鋭意工夫を重ねられ、一致団結して貴会の運営にあたられてきていると、誠に敬服するばかりです。

日本詩吟学院においても、引き続き公益社団法人としての社会的責任と皆様の安全を第一義としながら、吟道の普及向上という目的をしっかりと見据えて、事業の運営にあたるべく役員一同一丸となって取り組んでいく所存です。

本日の記念吟道大会を契機として、貴会の一層のご発展と会員皆様ならびにご関係皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げます。祝辞とさせていただきます。

## ご挨拶



横浜岳風会 会長 石井 岳孝

秋涼の候、ここ金沢公会堂で横浜岳風会創立45周年記念吟道大会を開催できました。これも一重に、ご来賓の先生方が錦上花を添えて下さいました賜物でございます。

公私ともご多忙の中、ご臨席を賜りました、公益社団法人日本詩吟学院神静地区担当理事 澤田岳翔先生、神奈川岳風連合会会長 森脇岳茶先生、京浜ブロックの会長先生及び友好団体の諸先生方、誠にありがとうございます。会員一同心より厚く御礼申し上げます。

昭和55年、当会の前進「横浜岳蕨会」は日本吟道学院へ移籍。佐々木岳歳（萃風）会長、若手約100名は神奈川県本部傘下「金沢岳風会」を設立。平成19年神奈川県本部解消に伴い「横浜岳風会」に改名、認可団体として再スタートしました。

「岳風流統順守」を基本に、スローガン「詩吟で健康・和をもって吟の道を志す」、吟道普及・会員増強、吟道で社会奉仕活動を軸に、地区最大級の会員を擁する会となりました。これも歴代の会長はじめ、諸先輩、会員の皆様のご指導・ご支援の賜物でございます。

5年前コロナウイルス感染拡大で、創立40周年大会を始め各種事業の中止等、活動が大きく制限され、又会員は大幅に減少しました。「出来る事から実施」で、予防の徹底、事業の短縮化・効率化等、従来とは異なる内容となりました。しかし無事充実した活動を実施でき、入会者も増えつつあります。会員のご協力・ご支援によるもので、心から感謝致しております。

本大会は創立時に立ち返り、当会発祥の地にて「会員主体で記念に残る大会」を目指し、会員一致協力のもと手作りで準備を進めてまいりました。不行き届な点は何卒ご寛容のほどお願い申し上げます。結びに、ご臨席下さいました諸先生方には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。併せて、ご来場の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

# 大会次第

十二時開会

一、オープニング「木遣り・囃子」

一、開会式

修 礼

国歌斉唱

朗 詠

開会の辞

御製謹詠

一、会員吟詠(一) 独吟

一、会員吟詠(二) 自然の情景—春夏—

一、式 典

会詩合吟

来賓紹介

主催者挨拶

来賓祝辞

表 彰

一、剣詩舞

一、会員吟詠(三) 人生の機微

一、会員吟詠(四) 自然の情景—秋冬—

一、構成吟

一、協賛吟詠

一、来賓吟詠

一、役員吟詠

一、閉会式

閉会の辞

十六時三十分閉会予定

オープニング

「木遣り・囃子」

町屋神社木遣り、囃子保存会

開 会 式

修 礼

国 歌 斉 唱

朗 詠

大会総務 豊 口 岳 鵬

開 会 の 辞

大会実行副委員長 金 子 岳 龍

御 製 謹 詠

大会会長 石 井 岳 孝

尺八伴奏 琴古流尺八箏詠会会長 栗 城 笙 童 先生

# 會員吟詠(一) 寿90歳

1 垓下の歌 項羽 小泉 金野敏山

2 胡隱君を尋ぬ 高啓 若葉台 荒井春風

3 山間の秋夜 真山民 東信桜 土田弘風

4 述懷 雲井龍雄 野七里 北岡和岳

5 涼州詩 王翰 晴洸 柴田一岳

## 會員吟詠(二) 自然の情景—春夏—

6 弘道館にて梅花を賞す 徳川斉昭

東信桜 古賀敏山 小谷喜泉

村田節泉

7 螢を観る 大槻磐溪

新宿 三田信風 吉田洲風

布施岡玉山 岡村清光

8 春日の作 新井白石

和 須藤昌風 森山聖風

鮫島寿泉

9 くれなるの 正岡子規

若葉台 荒井春風 古賀一岳

沼野井勇風

10 胡隱君を尋ぬ

深見

高啓

久保寺朱岳  
岡田静山岳

向山深岳  
廣住市泉

11 絶

句

杜甫

南青岳  
白岩明岳

中野慈岳

12 山

ざく

東信

本居宣長

下田幸岳  
齋藤香泉

矢口綾風  
古賀蒼泉

13 雪

梅

方岳

旭里  
田中華岳  
渡邊麗風  
坂本和子

米津瑞風  
奥井敏昭

14 鶯

の

一茶

磯子  
堀越紡岳

篠田泰風

15 二十三日に興に依りて作る歌

新宿

大伴家持

須賀井清岳  
橋本佳句子  
原田幸子

福岡緑山  
加藤美重子

16 時

に憩

う

良寛

若葉台  
工藤翠岳  
古屋秀山  
坂田セツ子  
五十川美どり  
川和

金本江風  
高宮久子

17 笛を聞く

服部南郭

寺尾  
そこう  
鶴鵬

五條敏岳  
畫間春美岳  
藤村長岳  
飯志岳

土方弘泉  
小川武司

18 家に花五十首歌よませ侍りける時

藤原良經

耀丘  
耀葉

山田澄岳  
伊藤慶岳

中野祐風

耀中  
耀海  
耀楓

渡邊湧子  
大橋翠風  
大上敬枝

19 夏の歌の中に

京極為兼

磯浜  
町屋

池田岳勝  
佐藤岳昭

新井梅岳

20 春日偶成

夏目漱石

渚

ふたば

難波岳康  
高部とし子  
山田榮風

仲戸川秀岳

《換氣休憩》

# 式典

会詩合吟

大会実行副委員長 正藤 岳鷹

来賓紹介

主催者挨拶

大会会長 石井 岳孝

来賓祝辞

総本部理事 澤田 岳翔先生

表彰

## 《換気休憩》

### 剣詩舞

21 富士山

柴野栗山

(舞) 幸吟

石井 岳昌

(吟) 副会長

田中 岳蘭

誰か 東海の水を將て

常任理事

米丸 里岳

濯い出す 玉芙蓉

常任理事

阿部 百岳

地に蟠って 三州尽き

天に挿んで 八葉重なる

雲霞 大麓に蒸し

日月 中峰を避く

独立 原 競う無く

自ら 衆岳の宗と為る

22  
本

能

寺

賴山陽

(劍舞) 常任理事

本能寺 溝は幾尺ぞ

吾大事を就すは 今夕に在り

茭粽 手に在り 茭を併せて食う

四簷の梅雨 天 墨の如し

老の阪西に去れば 備中の道

鞭を揚げて東に指せば 天 猶早し

吾が敵は 正に本能寺に在り

敵は備中に在り 汝能く備えよ

會員吟詠(三)

人生の機微

23 山行同志に示す

草場佩川

耀  
楓

木村秀山

東  
池  
端  
包  
晋  
泉  
広

耀  
丘

佐野光泉

池端包広

24  
大

楠

公

德川齊昭

榮・桜

高山美風

金 子 芳 岳  
清 水 智 泉

丹羽明泉

清水智泉

25 唐土にて月を見てよみける

安部仲麿

荣·宙

池田鈴岳

中野絹風

栄・楽

中  
村  
江  
風

下村青風

26 偶

耀海 感

西郷南洲

庭

栄岳

笹沢道風

27 非常之変に立到り申し候

幸吟 金港 昌吟

吉田松陰

長嵩智岳  
渡辺公風  
大内香風

28 睡起偶成

栄・楽 栄・洸

王陽明

鈴木静岳  
上村南風  
森谷清

大熊松岳

29 富士山

幸吟

石川丈山

細江昭岳  
杉田正山  
和田弘山

大内新山

30 南海行

栄・楽 栄・宙 栄・虹 栄・桂

細川頼之

上野孔岳  
青木達岳  
高橋慎山  
日小田正泉

平田一山

31 中国を巡りて

栄・希

若山牧水

鴨川明岳  
青木春岳  
川島瞳山  
中島ユミエ

玉城香岳  
佐藤貞風  
森部宏子

32 自訟

幸吟

杉浦重剛

長嵩清岳  
小野修風

高木恒岳  
成毛幸男

會員吟詠(四) 自然の情景—秋冬—

33 静

夜

思

李白

|     |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|-----|----|
| 榮・桂 | 榮・虹 | 榮・結 | 榮・恵 | 北本 |
| 大木  | 多田  | 平田  | 齋藤  | 綾風 |
| 智泉  | 華山  | 菊泉  | 氣風  | 所翠 |
| 山本  |     |     |     | 清泉 |
| 美泉  |     |     |     |    |

34 桂林莊雜詠諸生に示す

広瀬淡窓

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 小吟 | 吟遊 | 土肥 | 照風 | 久保 |
| 瀬戸 | 口  | 将山 |    | 松野 |
|    |    |    |    | 則泉 |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    |    |    |

35 月よみ

良寛

|     |    |    |    |     |
|-----|----|----|----|-----|
| 榮・花 | 橘  | 山田 | 俊岳 | 中神  |
| 菊川  | 智和 | 岳  |    | 長谷川 |
|     |    |    |    | 壽美  |
|     |    |    |    | 山風  |
|     |    |    |    |     |

36 冬夜読書

菅茶山

|     |    |    |    |     |
|-----|----|----|----|-----|
| 野七里 | 庄戸 | 岩崎 | 晴岳 | 佐々木 |
| 浅香  | 幸  | 功山 |    | 前田  |
|     |    |    |    | 征泉  |
|     |    |    |    |     |
|     |    |    |    |     |

37 秋の野に

僧正遍昭

|     |    |    |     |    |
|-----|----|----|-----|----|
| 峰の沢 | 庄戸 | 桂月 | 野七里 | 浅香 |
| 土屋  | 大塚 | 里見 | 工藤  | 悦岳 |
| 明岳  | 由枝 | 如岳 | 艸岳  |    |
|     |    |    |     |    |
|     |    |    |     |    |

井部啓風  
千葉道岳

38 山

行

杜牧

榮・雪 田端佳岳  
榮・結 涌井康泉  
柏倉輝泉

三浦哲岳  
長谷川朋泉

39 常盤孤を抱くの図

梁川星巖

晴洗

新藤昇岳  
野崎眞岳

橋場正岳

40

酒

榮・月

若山牧水

福室青岳  
伊藤芳風  
中谷幸風

奧田倫風  
高橋正風  
岡本喜山

41 曉

に

発

す

月田蒙斎

白山吟 大菊岳雄  
夏山吟 笠原悦岳

42 北海道巡遊中作

伊藤博文

龍吟 大菊香岳

菊地好岳

43 諏訪湖

訪

湖

畔

島木赤彦

小泉 佐原岳晃  
富岡 藤井岳濤  
白山吟 渡邊實風  
夏山 戸田白風

野沢光岳

《換気休憩》

構成吟

(敬称略)

44 創立45周年記念

「横浜岳風会のあゆみ」―歴代会長の足跡から―

企画・構成 横浜岳風会  
映像 篠崎岳法  
尺八 栗城笙童  
ナレーター 星野岳冬

(1) 城

山

西道仙

(剣舞) 神明鍛心流

孤軍奮闘 囲みを破って還る

クック 鍛紳

一百の里程 墨壁の間

長谷川 鍛翡翠

吾が剣は己に摧れ 吾が馬は斃る

(吟)

長谷川 鍛翠

秋風 骨を埋む 故郷の山

八神 武岳

水野 登岳  
小松 三岳  
笠井 瀧岳

(2) 城下の歌

項羽

(剣舞) 神明鍛心流 支部長

力 山を抜き 気は 世を蓋う

(吟)

山中 鍛水

時に利あらず 雕 逝かず

湯浅 拓岳

雕の逝かざるは 奈何に すべき

金子 岳龍

虞や虞や 若を奈何せん

酒井 彦風

(3) 山 中 の 月

藪 孤 山

(吟)

篠 崎 岳 法

驚き見る東山 山又山

山南山北 幾重の山

山路行き尽くせど 山は尽きず

山月山より出でて 又山に入る

(4) 悲 恋 毬 藻 の 歌

佐佐木岳甫

(舞) 天翔流 家元

秘煙千歳 阿寒の岳

碧水万年 明鏡の洋

悲恋の夷姫 古底に投ず

艶麗未だ結ばざるに 芬香も乏し

君を想う一念 毬藻と生り

愛し尽す慕情 玉妝に籠る

晴日身を漂わせて 眷影を求め

哀哀たる唱韻 湖塘に訴う

荒天枕に沈みて 離別を愁しみ

切切たる悲歌 隻鷺に啾く

わが恋は 阿寒の湖の水底の

まりもとなりて 永遠に悲しも

嗟是誰か知る 純愛の節

唯嘆く俗客の 霊裳に戯むるを

(吟)

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 天 | 天 | 山 | 田 | 田 | 中 |
| 翔 | 翔 | 川 | 中 | 野 | 村 |
| 瑤 |   | 岳 | 岳 | 歌 | 涼 |
|   |   | 芳 | 都 | 岳 | 岳 |

(5) 自

訟

杉浦重剛

岳に登りて 天下を小とし  
自ら誇る 意気の豪なるを  
其れ 山上の山を奈んせん  
之を仰げば 一層高し

(吟)

高田溪岳  
金森岳靖  
馬場岳耀  
加藤岳珊  
山本岳湧

(6) 偶

作

武田信玄

鏖殺す 江南十万の兵  
腰間の 一剣 血猶腥し  
豎僧は識らず 山川の主  
我に向かつて 慇懃に姓名を問う

(吟)

大貫岳曄  
千葉岳和  
柿崎岳瑤  
杉内岳芙  
池本岳幸

(7) 桜花の詞

逸名

薄命能く伸ぶ 旬日の寿

納言の姓字 此の花を冒す

零丁 宿を借る 平の忠度

吟詠 風を怨む 源の義家

滋賀の浦は荒れて 暖雪翻り

奈良の都は古りて 紅霞簇る

南朝の天子 今 何くにか在します

芳山を望まんと欲すれば 路 更に餘かなり

(舞)

(吟)

相良岳峰  
千葉岳倫  
豊口岳聲

(8) 白

虎

隊

佐原盛純

(剣舞) 静風流勘久保会 師範代

南 鶴が城を望めば 砲煙颯る

(吟)

痛哭 涙を飲んで 且つ彷徨す

宗社亡びぬ 我が事畢る

十有九人 腹を屠って僵る

的場紅昭

大菊輝岳

桑田和岳

金森岳嬢

相澤谷風

(9) 中

庸

元田東野

(剣舞) 神明鍛心流 師範

(吟)

勇力の男児は 勇力に斃れ

文明の才子は 文明に酔う

君に勧む 須く中庸を択び去るべし

天下の万機 一誠に帰す

福田鍛紅

正藤岳鷹

川上岳宗

田中岳寛

高橋峰岳

(10) 富

士

山

石川丈山

(先導)

石井岳孝

仙客来たり遊ぶ 雲外の頂

神竜棲み老ゆ 洞中の淵

雪は純素の如く 煙は柄の如し

白扇倒に懸る 東海の天

《換気休憩》

協賛吟詠

45 太

平 洋

安達漢城

はまゆう吟詠会

清水 岳 梁  
長谷川 岳 道  
高橋 武 岳  
山 川 庭 風  
小林 庭 風

小沼 岳 仁  
杉山 岳 華  
山崎 玲 岳  
鈴木 宏 岳  
近成 浄 風

46 中

庸

川崎吟友会

元田東野

高橋 岳 治  
石渡 岳 道  
深堀 岳 洸  
小野 昭 岳  
小野 寺 慶 岳  
小野 寺 岳

二本木 岳 青  
瀬戸 岳 愈  
飽本 岳 正  
上村 啓 岳  
清家 徳 山

47 武 野 の 晴 月

横浜吟友会

林羅山

福本 岳 優  
吉町 宝 岳  
玉田 遥 岳  
庄野 和 岳  
山下 茜 風

保坂 岳 凜  
栗山 紀 岳  
福田 悠 岳  
久保 栄 岳  
唐鎌 果 山

48 靈 山

県央岳風会

徳富蘇峰

杉山 岳 光  
岩澤 澄 岳  
井原 光 岳  
山下 心 風

福留 岳 浩  
福江 清 岳  
富岡 蘭 風  
高杉 明 山

# 来賓吟詠

49 鶴鵲楼に登る 王之渙 川崎吟友会 会長 木田 岳養 先生

50 家兄に寄せて志を言う 広瀬武夫 横浜吟友会 会長 大川 岳要 先生

51 菊 白居易 県央岳風会 会長 芝口 岳声 先生

52 江 雪 柳宗元 神奈川岳風連合会 会長 森脇 岳茶 先生  
はまゆう吟詠会 会長

53 潮 頭 徳富蘇峰 総本部長 澤田 岳翔 先生

# 役員吟詠

54 寒 梅 新島 襄

田中岳蘭 山口岳聲 豊口岳冬 星野岳冬 米丸岳岳 桑田和岳 阿部百岳 相澤谷風  
山川岳芳 千葉岳倫 千葉岳和 大菊輝岳 村本輝岳 金森岳嬢

55 某楼に飲す 伊藤博文

金子岳龍 田中岳寛 金森岳靖 湯浅岳岳 高橋峰岳  
正藤岳鷹 馬場岳耀 加藤岳珊

56  
神

州

乃木希典

石井 豊川 水野 酒井  
岳 岳 岳 彦  
孝 鵬 宗 岳 風

篠 遠 八 小  
崎 藤 神 松  
岳 岳 武 三  
法 瑞 岳 岳

閉  
会  
式

閉  
会  
の  
辞

大会実行委員長 田中 岳蘭

# 功 勞 者

〔寿九十歳の部〕

|       |       |       |       |      |      |
|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 龜舍嬌子  | 荒井春風  | 戸佐清風  | 高島溪岳  | 吉田鳳岳 | 印南岳  |
| (若葉台) | (若葉台) | (若葉台) | (静和)  | (小泉) | (東信) |
| 杉内照永  | 金野敏山  | 久保適風  | 北岡和岳  | 橋場正岳 | 豊口岳  |
| (ふた葉) | (小泉)  | (吟遊)  | (野七里) | (晴洗) | (鶴静) |
| 山本美泉  | 土田弘風  | 伊藤慶岳  | 南青岳   | 塩澤幸  |      |
| (栄・桂) | (東信桜) | (耀葉)  | (若葉台) | (川和) |      |

十七名

# 大会協力会員

|      |       |      |       |       |       |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |     |
|------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 西中祐誠 | 黒田祐輔  | 渡邊美晴 | 北御門哲也 | 居内祥剛  | 今野芳春  | 只腰昭泉 | 竹内捷泉 | 大村悠山 | 吉本八山 | 村上眞山 | 鎌滝史風  | 小田拓勝 | 北澤勝岳 | 齋藤太岳 | 田中克岳 | 長嶋孝岳 | 塩澤幸岳 | 印南岳 |
| 河輪房修 | 牧崎節子  | 岩圭晴  | 寺本暢夫  | 林康政   | 加藤琢也  | 今村省泉 | 熊澤孝泉 | 中村隆山 | 伊藤俊山 | 岸洋山  | 矢野爽風  | 片野薫風 | 齊藤孝風 | 柳澤孝岳 | 弦間広岳 | 高島溪岳 | 竹内涼岳 | 渡邊秀 |
| 杉内照永 | 春日井軍治 | 三輪信雄 | 榊原ひろ子 | 中村ヒデ子 | 亀舎芳子  | 広地京泉 | 松田康泉 | 内藤恵山 | 内海菜山 | 浅井青風 | 成瀬袁風  | 藤井清風 | 戸佐清岳 | 浅岡星岳 | 成瀬誠岳 | 加賀応岳 | 横溝岳  |     |
| 桑山京子 | 木本隆彦  | 森京子  | 斉藤美津代 | 岡出奈織子 | 飯塚由利子 | 石井佳泉 | 新井洋泉 | 竹内弓山 | 松本光山 | 黒田英山 | 佐々木克山 | 鈴木秋風 | 三原信岳 | 土肥弘岳 | 須野栄岳 | 権田常岳 | 若林岳  | 若林岳 |

# 少年・幼年会員

鹿山深央大内祐貴

# 大会役員

大会相談役 篠崎岳法

大会会長 石井岳孝

大会実行委員長 田中岳蘭

大会実行副委員長 金子岳龍 正藤岳鷹

大会総務 豊口岳鵬 山川岳芳 遠藤岳瑞 千葉岳倫  
豊口岳聲 千葉岳和

受付 米丸里岳 〇星野岳冬 土屋明岳 奥田倫風  
高山美風

進行・連絡 〇大菊輝岳 〇加藤岳珊 田中岳都 阿部百岳  
中村涼岳 田野歌岳 堀越紡岳 福室青岳  
〇八神武岳 笠井瀧岳 瀬戸口将山 松野則泉

舞台 〇小松三岳 〇高橋峰岳 米津瑞風 土肥照風

会場・避難 〇湯浅拓岳 〇新藤昇岳 五條敏岳 岩崎晴岳  
高田溪岳 田中華岳 渡邊湧風 大橋翠風

構成吟 〇川上岳宗 〇田中岳寛

照明・音響 〇水野登岳 〇小松三岳 (兼任)

接待 〇桑田和岳 〇金森岳嬢 鴨川明岳 篠田泰風

記録(含写真) 〇金森岳靖 〇馬場岳耀 佐原岳晃 山田澄岳  
古賀蒼泉

救護 〇佐藤岳昭

会計 〇村本輝岳 〇相澤谷風

## 横浜岳風会の歩み

創立（神奈川県本部傘下 金沢岳風会）

昭和五十五年十月一日

設立総会

白山道会館

昭和五十五年十一月二十九日

創立一周年記念吟道大会

金沢公会堂

昭和五十六年十月十一日

創立五周年記念吟道大会

金沢公会堂

昭和六十年六月九日

創立十周年記念吟道大会

金沢公会堂

平成二年八月十二日

創立十五周年記念吟道大会

金沢公会堂

平成七年九月十日

創立二十周年記念吟道大会

金沢公会堂

平成十二年十月八日

創立二十五周年記念吟道大会

金沢公会堂

平成十七年四月二十四日

認可に合わせ横浜岳風会に改名

平成十九年四月一日

認可祝賀会

真鶴会館

平成十九年五月二十日

創立三十周年記念吟道大会

鎌倉芸術館

平成二十二年十一月六日

創立三十五周年記念吟道大会

鎌倉芸術館

平成二十七年十月三日

創立四十周年記念吟道大会（中止）

関内ホール

令和三年九月二十三日

創立四十五周年記念吟道大会

金沢公会堂

令和七年十一月一日

メモ

# 横浜岳風会詩吟教室一覽

教室名

指導者・支部長

活動場所

活動日

東京都

新宿区

新宿

柿崎岳瑤

新宿区大久保地域センター

毎週土曜

横浜市

西區

そごう

豊口岳聲

読売・日本テレビ文化センター横浜

毎週火曜

神奈川區

静和

豊口岳鵬

神之木地区センター

毎週水曜

金港

石井岳孝

石井岳孝自宅

毎週金曜

昌吟

石井岳昌

幸ヶ谷集会所

水(月3回)

幸吟(六角橋)

石井岳孝

六角橋ヶアブラザ

第2・4月曜

都筑區

和・青少年

千葉岳倫

千葉岳倫自宅

毎週月曜

川和

篠崎岳法

川和小学校コミュニティハウス

毎週金曜

耀耀耀耀耀

渡邊湧風

中川地域ヶアブラザ

金(月2回)

耀耀耀耀耀

山田澄岳

都筑地区センター

毎週火曜

耀耀耀耀耀

相澤谷風

都筑地区センター

毎週水曜

耀耀耀耀耀

渡邊湧風

たまプラザ地域プラザ

毎週火曜

耀耀耀耀耀

馬場岳耀

山内地区センター

火(月2回)

耀耀耀耀耀

馬場岳耀

藤が丘地区センター

日(月2回)

港北區

馬場岳耀

日吉地区センター

毎週金曜

鶴見區

豊口岳鵬

鶴見・生麦地区センター

毎週木曜

鶴尾詩吟

豊口岳鵬

鶴見・生麦地区センター

毎週土曜

寺尾詩吟

豊口岳鵬

寺尾地区センター

毎週火曜

若葉區

正藤岳鷹

けやき集会所

第1・3水曜

東區

村本輝岳

中屋敷地区センター

火(月2回)

東區

村本輝岳

大正地区センター

水(月2回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

月(月2回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

金(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

木(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)

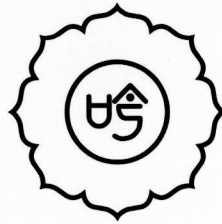
東區

村本輝岳

戸塚地区センター

水(月3回)





公益社団法人 日本詩吟学院認可

# 横浜岳風会

〒211-0056 横浜市神奈川区金港町2-1-401

TEL/FAX 050-7566-2744

<http://yokohama-gakufu.sakura.ne.jp/>